

東日本大震災被災地へ村職員を派遣

派遣先は宮城県岩沼市



宮城県岩沼市DATA

宮城県の中央部、仙台市の南に位置。面積は60.71 km²で、3月末現在の人口は43,903人。東北地方の玄関口となる仙台空港が所在しています。

岩沼市の主な被害状況

(5月24日現在)

死者数 180人
 行方不明者数 3人
 火災発生状況 1件

住宅の被害状況
 全半壊(流出含む) 1,687棟
 一部損壊 948棟

浸水面積
 約29km²
 (岩沼市の面積の約48%)

避難者数(避難所数)
 最高時(3/14): 7,214人(32か所)
 5/24現在: 84人(1か所)

村では、四月二十五日から五月十五日までの三週間、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市へ一週間交替で二人ずつ、六人の職員を派遣しました。また、GW期間中、村の保健師と看護師あわせて四人を仙台市へ派遣しました。現地の様子や派遣内容について報告します。

現地の状況及び活動内容

派遣期間中、岩沼市では、亡くなられた方への弔慰金や見舞金、被災者の生活再建のための支援金など各種申請受け付けの期間中で、市役所内に設けられた受付会場は朝から混雑していました。見舞金や支援金の対象となるのは約千五百世帯で、村職員は、全国各地から派遣されてきた方たちと申請書類のデータ入力や添付書類のチェック



クを行ってきました。

岩沼市では、五月中に弔慰金や見舞金を振り込もうと、休日返上で職員が対応に追われていました。

全国各自治体も被災地支援派遣期間中、申請受付会場などには関川村の他に、三重県・大阪府・長野県・東京都中野区からも災害派遣による応援があつたほか、これ以外にも、他部署には全国各地から災害派遣による応援がありました。

保健師・看護師も被災地へGW期間中の五月三日から五日までの三日間、村の保健師二人と看護師二人を被災地の仙台市若林区へ派遣し、市内九か所ある避難所のうち、四か所の避難所で健康相談などの活動を行ってきました。現地では、兵庫県から派遣された保健師や新潟県医療福祉大学のメンバーと共に活動しました。

岩沼市職員も津波の犠牲に地震発生直後の大津波警報発令後、広報車で沿岸部を巡回中に津波にのまれ、四人の

職員が犠牲となりました。

余震続く

大震災発生後、被災地では毎日のように余震が発生しています。派遣期間中も、ほぼ毎日、体に揺れを感じる余震がありました。

大震災の数か月前に耐震工事

岩沼市役所は、東日本大震災が発生した数か月前に、庁舎の耐震工事を実施。

震度6弱の強い地震にも関わらず、庁舎は地震の被害から逃れることができました。



▶岩沼市役所

市内の沿岸部にある高齢者デイサービスセンター



市内の玉浦地区は壊滅的な被害を受けました



ボランティアの方たちが、写真や手紙を復元させています



岩沼市に隣接している巨理町も津波で被害を受けました



市民会館駐車場に建設された仮設住宅



GW期間中、ボランティアセンター前は行列ができました



村の診療所に勤務していた

佐藤知矢先生にも

お会いしました

今回、派遣された宮城県岩沼市。偶然にも、今年の一月末まで診療所に勤務していた佐藤知矢先生が、岩沼市内の病院に勤務しているということと、お会いしてきました。



地震・津波の後は、病院は人であふれひどかった。今は少し落ち着いてきましたが、忙しい毎日を送っています。関川村は本当に素晴らしい所でした。大好きな村です。人も、自然も、そして、道にごみが落ちていないところも。近いうちに、今勤務している病院の看護師を連れて関川村に遊びに行きたいと思いません。

関川村は、このたびの東日本大震災で被災された皆さまに対し、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地を応援しています